

回数	講師	回数	講師	回数	講師	回数	講師
目黒学パート16 : 目黒の教育 コーディネーター 山崎憲治		奔流する中国—20世紀の中国、そして今— コーディネーター 南雲智		旅の歴史と風景—江戸・東京から 世界への視点— コーディネーター 菊地俊夫		乗り物の文化史—馬車から宇宙船まで— コーディネーター 森慎一郎	
目黒で行なわれた教育を通史として捉えると共に、教育をとりまく現代的課題に注目します。発信型教育を目指す一歩として、教育の現場にゲストスピーカーとして参加する機会を持ちます。これによって、教育現場と近い関係の中から教育が持つ課題を実践的に考える機会をつくろうと思います。		近現代の中国を歴史、文化、政治、社会の4つのセクションから捉え、現代中国を理解する道しるべを示すと共に、振り返って、日本の役割や世界を考える契機としたい。		江戸の人々は旅をどのように考えていたのだろうか。今日旅は癒しとしての農作業や、観光の商品化にいたるまで、多様化している。社会変化と共にある旅の時代性を見つめ、町づくりから環境保全にいたる旅に関わる多様な事象を、4回の現地見学で理解を深めるとともに、ルーラルツーリズムの基本的構造の理解を図る。		エネルギー、環境問題への対応を強く意識する現代。経済活動、移動手段として欠かせない交通機関に目を向け、その発展と将来の姿を見据えた問題提起をしながら、楽しく新たな視点の提供を目指す。	
1 オリエンテーション	山崎憲治	1 「西欧の衝撃」から始まった中国の近代史—その概観	南雲智	1 江戸の人々の旅とその性格	菊地俊夫	1 馬車から鉄道へ	白川淳
2 近代日本教育の歴史1	遠藤孝夫	2 清朝帝国から中華民国へ	鶴島俊一郎	2 江戸っ子の漱石がみたロンドンの風景	東秀紀	2 列道の歴史—蒸気機関車からリニアモーターカーまで	白川淳
3 近代日本教育の歴史2	遠藤孝夫	3 中華人民共和国成立	渡辺新一	3 江戸の寺社詣でに見る旅の文化史	松井圭介	3 鉄道と文学—銀河鉄道の夜、点と線、阿房列車	白川淳
4 目黒にあ+B7:C14る高等学校の歴史都立大学附属高等学校の歴史から	須藤勝	4 文化大革命とは何だったのか	関根謙	4 外国人が見た東京の風景	佐々木リディア	4 鉄道の運行—時刻表	白川淳
5 目黒にある大学の歴史・都立大学の歴史から	大串隆吉	5 改革開放路線とその後	清水美和	5 現地実習: 江戸の粋な風景をあるく・みる—浅草の風景	菊地俊夫 吉田樹	5 鉄道の趣味	白川淳
6 小学校ではこんな授業が展開されている	桜橋賢次	6 中国語の新語、流行語を読み解く	南雲智	6 祭りを活かした観光地域づくり—伝統的な祭りの存続と活用	川原普	6 航海術からみた船の歴史	橋本進
7 中学校ではこんな授業展開されている	1中校長	7 様変わりする食文化	趙方任	7 歴史資源を活かした観光地域づくり—城下町や宿場町との関係で	岡村祐	7 タイタニックはなぜ沈んだ	高島健
8 インターナショナルスクールではこんな授業が展開されている・「価値」学習	成井和子	8 映画、そして俳優たち	飯塚溶	8 イベントと観光まちづくり—東京オリンピックとの関連で	東秀紀	8 咸臨丸の勝海舟とジョン万次郎—船酔いで苦しむ勝海舟、作業できない日本船員、そのときジョン万次郎は	橋本進
9 地域と教育 大学と地域の教育の新たなかわりを求めて	山本泰	9 インターネットと携帯電話	古畑康雄	9 交通計画と観光まちづくり—東京の交通計画の歴史と関連して	吉田樹	9 海賊の歴史と現代の海賊事情—カリブ海からソマリアまで、本当の“やつら”の実態は	山田吉彦 池野功
10 ゆに—くな学習地震体験学習館での実習	山崎憲治	10 漫画、アニメは人気者	千野拓政	10 現地実習: 神楽坂の観光地域づくりをあるく・みる	菊地俊夫 吉田樹	10 船の科学館見学と東京港クルーズ	船の科学館
11 「教えることと考えること」子どもの学びを知る	山崎友子	11 少数民族と漢民族—中国が抱える問題の提起として	南雲智	11 郊外農村への憂鬱と憧憬—ルーラルティの商品化の歴史と風景	菊地俊夫	11 自転車の文化史—自転車の発達とバイクシェアリング	大淵加市
12 まなびの構造を具体的教材の中で考える	山崎友子	12 高度経済成長が意味するもの	池上彰英	12 郊外農村の散策と楽しみ方—ルーラルツーリズムの歴史と風景	小原則宏	12 自動車の歴史—人々はどんな動力でクルマを動かそうとしたか	大淵加市
13 ゲストスピーカーとして授業にかかわる・中目黒小学校での試み	山崎憲治	13 内政と外交—特に日本との関係で	信太謙三	13 郊外農村での農業の癒し—市民農園の歴史と風景、そして新たな展開	山本充	13 自動車とレース—レースと自動車技術の進歩	大淵加市
14 ゲストスピーカーとして授業にかかわる・烏森小学校での試み	山崎憲治	14 資源・環境問題の現状と将来	傳 てつ	14 郊外農村での恵の享受—観光農園・直売所の歴史と風景	林琢也	14 自動車と経済—自動車産業と経済発展、地球環境	大淵加市
15 評価と課題 子どもの前に立つ喜びと「学び」の可能性	山崎憲治	15 中国共産党と民主主義	バイカル	15 現地実習: 郊外農村でのルーラルツーリズムをあるく・みる—お鷹の道	菊地俊夫 吉田樹	15 自動車と社会環境—未来の車社会はどうか	大淵加市
16 校舎建築の可能性—文字片廊下の教室から何が生まれるか。未来の学校建築をめぐる課題と可能性	上野淳	16 お金持ちと農民工	南雲智	16 自然を守りながら利用する—江戸と東京の知恵に学ぶ地域づくり	小崎隆	16 飛行機の文化史—軽飛行機の世界	阿施光南
17 少子高齢化対応。地域の教育再生の現状(未来に向けた教育行政)	大塩晃雄	17 ビジネス界とビジネスマン	徳地一人	17 小笠原を世界遺産に—その自然の保全と利用の歴史	沼田真也	17 飛行機の発明—ライト兄弟はなぜ飛行機の発明者と言えるのか	阿施光南
18 教育の国際比較から教育のあり方を考える1	箕浦康子	18 病院と患者	菊地玲子	18 自然と共に動物を見せる—多摩動物園と上野動物園の歴史と風景	有馬貴之	18 安全の航空史—落ちない飛行機はつくれるのか	阿施光南
19 教育の国際比較から教育のあり方を考える2	箕浦康子	19 都市と住宅	木之内誠	19 現地実習: 東京のエコツーリズムの風景をあるく・みる—野川流域	菊地俊夫 吉田樹	19 戦いの航空史—飛行機が変えた戦争、戦争が変えた飛行機	阿施光南
20 この講座の評価と展望。地域にかかわり「学び」を創り、それを地蔵成長させるには	山崎憲治	20 ペットと老人	石原邦雄	20 かくしてミシュランの三つ星観光地になった—高尾山の保全と利用	菊地俊夫	20 人は空を飛べる—空を飛ぶにはどんな方法があるのか	阿施光南

平成23年度目黒シティカレッジカリキュラム(第17回)

目黒学パート17 : 目黒にある大使館から世界を見る
コーディネーター 山崎憲治

目黒には12の大使館があります。大使館が周辺地域とのつながりや、自国への理解を深める努力をしています。大使館が地域にかかわる実際の姿を通して、当該国の文化を知り、世界との結びつき的一端を学ぼうと思います。

奔流する中国 II—なにを観、なにを知るのか
コーディネーター 南雲智

大好評をいただいたパート I に続き、近・現代の中国を、歴史、社会、経済、文化の4つのセクションから捉え、中国理解の基本を身に着けるとともに、過剰な中国情報から取捨選択する視点を養い、振り返って日本の役割や世界を考える機会としたい。

健康な環境と不健康な環境を診る、知る、学ぶ
コーディネーター 菊地俊夫

世界の常識のように思える環境問題と取り組みの温度差を背景に、日本の現状と多様な視点から、目指すべき環境の姿を考える。ツーリズムとしての視点から、環境を利用する、社会性をも範疇とした個人の対応までを、4階の現地見学により理解を深めるとともに、環境を捉える物理的視点も含め環境問題の基本理解を図る。

世界の祝祭—その本質を見つめる : 歴史と文化を尋ねる—
コーディネーター 森慎一郎

世界中にある多様な祝祭に触れ、それぞれがそこに生きる人類の死生観に根ざした原始的世界観を共有していることを知る。多様な祝祭を多くの画僧とともに、観光を加味し楽しく新鮮な視点で学びます。祝祭に内包する根源的意味を、人類共通の意思であるかについて、多様な視点から追求します。

回数	講師	回数	講師	回数	講師	回数	講師
1 オリエンテーション	山崎憲治	1 孫文・・・理想と現実	斉藤道彦	1 グローバルからローカルまでの環境問題とは	菊地俊夫	1 祭りの色々々収穫・先祖崇拝・宗教・厄よけ	堀信行
2 NEXT20—次の成長を予想させる国々	大喜多富美郎	2 蒋介石・・・富強国家への夢と現実	奥村哲	2 地球規模で見た地球温暖化の秘密	松山洋	2 昔の祭り・現代の祭り—祭りの歴史—	堀信行
3 エジプト大使の講義とエジプト料理を楽しむ	Dr.Waild Mahmound Abdeinasser (エジプト大使)	3 川島芳子・・・男装の麗人	寺尾紗穂	3 東京のヒートアイランドとクールアイランド	高橋日出男	3 中国・トン族・ミャオ族の歌掛け	草山洋平
4 エリトリアと日本、大使館の仕事の現場から	吉田美穂	4 毛沢東・劉少奇・・・国の形をめぐる	南雲智	4 東京のゲリラ豪雨	高橋日出男	4 ネパール:ネパール最大の「ダサイン」	近藤千鶴
5 ナイルと北上川—両国を川から見ると	平山健一	5 江青・・・毛沢東夫人、女帝そして罪人に	渡辺新一	5 現地見学:東京のクールアイランドをあるく・みる	有馬貴之、 菊地俊夫	5 モンゴル	ツエレンバト・ チンバヤル
6 古代エジプト文明の魅力	近藤二郎	6 嗚呼、結婚・・・愛があっても	堀内理恵	6 生物多様性と外来種の脅威	小池文人	6 スリランカ	ラナウィーラ
7 アフリカの「食」から考えてみよう	松本仁一	7 マイホーム・・・安・広・近は高望み	川野明正	7 自然地域における外来種対策と世界遺産	可知直毅	7 フランスブルタニュー地方Rostrenenの音楽とダンスのお祭り	黒木朋興
8 ネパールの農村から見てて来るもの	山崎憲治	8 末は金持ちか大臣か・・・一人っ子と教育ママ	趙 方任	8 東京における生物環境の熱帯化	沼田真也	8 スペイン・牛信仰から今の祭りへ	黒田祐我
9 ネパールでの活動—草の根の支援とは	垣見雅一	9 大学は出たけど・・・大卒イコール失業者	関根謙	9 現地見学:東京における生物環境をあるく・みる	沼田真也、 菊地俊夫	9 イタリア・ベネツェのカーニバル	高津美和
10 目黒にあるネパール料理店で食事を楽しむ	山崎憲治	10 病気・定年・老後・・・他よりは自分	谷口洋志	10 熱帯ジャングルにおける生物環境の熱帯化	沼田真也	10 イタリア・シエナのバーリオ	高津美和
11 ネパールとは	Dr. Ganesh Yonzan (ネパール大使)	11 上海万国博決算	劉 怡	11 飽食と飢餓の食糧環境	菊地俊夫	11 ドイツ・ケルンのカーニバル	高津秀之
12 バングラディッシュの環境問題	生井貞行	12 調和社会の現実	谷口洋志	12 安全で安心な食糧を求めて—世界における有機農業—	松本憲次	12 京都の祇園祭—祭りの中の祭り—	清水克行
13 バングラデッシュと日本	A. K. M. M anzuru Hauque ndc	13 愛国と民族融和	斉藤道彦	13 安全で安心な食糧を求めて—日本における有機農業—	松本憲次	13 田遊び—東京に残された中世の村祭り—	清水克行
14 大使館の内側から見た日本	佐々木幸雄	14 経済発展とエネルギー問題	バイカル	14 日本における有機農業の実態と問題点	宮地忠幸、 菊地俊夫	14 相馬野馬追—神旗争奪—	齊藤悦正
15 シャプラニールの活動	藤岡恵美子	15 共産党と民主化	韓 応飛	15 現地見学:東京における安全安心な食糧生産の現場をみる	宮地忠幸、 菊地俊夫	15 マリ・ドゴンのシギの祭り—過去から未来へ—	椎野若菜
16 ガボン共和国の紹介と日本とのかかわり	Faustin Yves N'guied Nickolo	16 北京・・・伝統とファッショナブル	鶴島俊一郎	16 世界における森林破壊と環境問題	菊地俊夫	16 ブータン・ツエチュ祭り—チベット仏教の舞踏劇—	溝口大助
17 アフリカと私	堀信行	17 重慶・・・近代の変転を知る都市	関根謙	17 東京における緑地環境の縮小と保全保護	有馬貴之	17 インドの古典舞踊Odissi—神に捧げて—	茶谷祐三子
18 セネガル共和国の紹介と日本とのかかわり	Kharw Diouf	18 長春・・・消滅した満州国首都「新京」	橋本雄一	18 見沼田んぼにおける環境保全と私たちの役割	山本充	18 東大寺お水取り—火と水の祭り—	守田逸正
19 ジブチの紹介と日本のかかわり	Ahmed Araita Ali (ジブチ大使)	19 西安・・・唐の都「長安」	木ノ内誠	19 現地見学:東京の緑地環境の保全保護をあるく・みる	有馬貴之、 菊地俊夫	19 高山祭り—カラクリ舞台—	齊藤悦正
20 総括と課題	山崎憲治	20 上海・・・魔都上海	小林二郎	20 私たちができる環境問題の解決法	菊地俊夫	20 エイサー沖縄の共同意識—	草山洋平

平成24年度目黒シティカレッジカリキュラム(第18回)

目黒学パート18 : 地域連携の可能性を探る
 一東日本大震災から見えてくるもの一
 コーディネーター 山崎憲治

主題

3. 11の東日本大震災を体験し、支援活動に止まらず、食糧問題とかエネルギー問題などでは地域と地域の連携が新しい日本を創っていく事が示されています。この視点から減災の取り組みを考え、実際に何をどこまで作れるのか、目黒の地からこの問題を考えたいと思います。

回数	講師
1 はじめに: 地域連携の可能性を探る	山崎憲治
2 気仙沼被害の実態と現状: 東日本大震災の被害状況と気仙沼被害の特徴	生井貞行、山崎憲治
3 3・11コミュニティとして安全を確保した例の紹介: 岩手の小中学校の避難から	山崎憲治
4 支援活動・災害ボランティアは何を語るか	未定
5 復興に向けて目黒区は何ができるのか、そして目黒区は何を得たのか、一行政から見た支援と連携	中崎正
6 連帯の元になったイベント: めぐるsunまつり、気仙沼との交流の始まりからsunまつりの発展と歴史	小泉一
7 気仙沼の漁業、再建に向けての市民レベルの支援はあるのか	嶋野隆夫
8 食料自給率40%の中で、第一次産業が儲からない・担い手が集まらない産業の実態	中村靖彦
9 放射能の怖さと実態	浦島充佳
10 消費者行動、風評被害と安心安全の確保	豊田直樹
11 省エネ対策: ベランダで太陽光発電、実践家に聞く	成井弦
12 自然エネルギー最前線町民消費電力の3倍近くを自然エネルギーで生む町	中村哲雄
13 小規模水力発電の魅力	小林
14 東京の実態を考える: 都市災害の実情	中林一樹
15 目黒区の帰宅困難者の実情	目黒区防災課
16 市民レベルの緊急対策: 自助・共助を具体化している例	山崎憲治
17 行政レベルの緊急対策と訓練支援のあり方	目黒区防災課
18 高齢社会の中で: コミュニティでの安全マップづくり	山崎憲治
19 現地調査の検証: 初期震災対策を地域の中で創ろう	山崎憲治
20 私たちの安全をコミュニティの中から	山崎憲治

特別巡検として夏季には気仙沼から岩手県宮古市田老まで被災地巡検を2泊3日で実施した
 案内: 山崎憲治

観光を楽しむ、観光を学ぶⅡ
 一ニューツーリズムの時代を読む一
 コーディネーター 菊地俊夫

ツーリズムという考えにニューツーリズムという考えが生まれつつあり、今回はそれを先取りする形で、体験実習というあたらな取り組みを企画し、アニメ・小説・映画などの舞台となった地域やそれらを創造する人と産業の集積地の観光化という言葉に込められた可能性を4つの実習を踏まえて論じます。

回数	講師
1 ニューツーリズムとは何か	菊地俊夫
2 まちづくりから始まる観光	川原普
3 まち歩きから始まる観光	岡村祐
4 乗り物好きの観光事始め	吉田樹
5 現地見学: プラタモリ風まち歩きのすすめ	菊地俊夫
6 フィルムコミッションと観光	川原普
7 アニメ聖地と観光	池田拓生
8 小説の舞台と観光	松井圭介
9 ドラマ・映画の舞台と観光	有馬貴之
10 現地見学: 大河ドラマ「江」の舞台を歩く	菊地俊夫、有馬貴之
11 新しいルーラクツーリズムとしてのフードツーリズム	菊地俊夫
12 遊牧民の伝統を伝えるゲルツールズム	チンバエル
13 バッカス村々をた訪れるツーリズム	飯塚遼
14 新しい聖地巡礼と農村の商品化	松井圭介
15 現地見学: 柴又から野菊の墓をあるき、きく、食べる	菊地俊夫、有馬貴之
16 広がるジオツーリズムとその楽しみ	菊地俊夫
17 ワイルドライフ・ツーリズムを楽しむ	エランガー
18 ジオキャンプを楽しむ	倉田洋平
19 現地見学: 新しい城下町観光を体験する	菊地俊夫、岡村祐、有馬貴之
20 私たちは地域資源をどのようにして観光に結びつけるのか	菊地俊夫

文化としての仏教

コーディネーター 森慎一郎

ヨーロッパ、中国、日本の思想家を取り上げ、その生涯と思想内容を平易に紹介します。思想や哲学への学問的導きの機械となるとともに、取り上げた思想家の生き方に自らの人生を重ね合わせたり、問い直したりする機会になるかもしれません。

回数	講師
1 お盆一迎え火、送り火、盆踊り	村上興匡
2 お彼岸一日本の太陽信仰	堀信行
3 お経一いったい何が書かれているのか	川端清光
4 現代の寺院一その歴史的背景	斉藤悦正
5 葬儀・法事一どんな意味があるのか	村上興匡
6 禅と室町時代一「日本的」とは	清水克行
7 水墨画一余白の美とは	高岸輝
8 枯山水一市中の小宇宙	山本聡美
9 茶道一究極の平常心	森暁子
10 精進料理一日本のゲジタリアン	未定
11 幽霊・妖怪一暗闇に潜む者たち	谷口基
12 地獄・極楽一仏教の世界観	山本聡美
13 庚申信仰	清水克行
14 熊野詣の歴史学	高木徳郎
15 熊野古道を歩く	高木徳郎
16 一中世の参詣記を手がかりに	菊地俊夫
17 古寺巡礼 奈良 文学・芸術と観光	菊地俊夫
18 世界遺産中尊寺一大企業の仕掛け	吉田樹
19 仏像ブーム仏像は美術品	未定
20 現地実習: 鎌倉五山と仏像を楽しむ	秋山哲雄
21 世界遺産の仏教遺跡一サーンチー、アジャンダ、エローラ	森慎一郎

平成25年度目黒シティカレッジ(第19回)

目黒学パート19 : 残したい風景・地名、
残る風景・地名
コーディネーター 山崎憲治

主題 残したい風景地名から、あらたにつくられる風景、現代に続く風景など、地名と風景にこだわりながら地域への関心と呼び覚まし、街づくりの意味を考える。

生きる知恵、古今東西
コーディネーター 堀信行

多様な時代、社会の中で人々はどのように生きてきたのか、その術としての生きる知恵を生きた知恵として学び、先人の知恵と現在をいきるご自身の体験を照らし合わせながら学んでまいります。

思想家は何を考え、どう生きたのか
コーディネーター 越田年彦

ヨーロッパ、中国、日本の思想家を取り上げ、その生涯と思想内容を平易に紹介します。思想や哲学への学問的導きの機械となるとともに、取り上げた思想家の生き方に自らの人生を重ね合わせたり、問い直したりする機会になるかもしれません。

街歩きが楽しくなる街歩き学
コーディネーター 菊地俊夫、佐藤洋

歩きを科学しながら、街歩きの楽しさを感じていただきます。歩行動作の解析から街歩きに実習まで、街の変化と支店の変化による意外性を楽しみながら学んでいただきます。

回数	講師	回数	講師	回数	講師	回数	講師
1 オリエンテーション	山崎憲治	1 何ゆえいま「生きる知恵」か?	堀信行	1 ソクラテス:なぜ脱獄を拒否し、自ら毒杯を仰いだのか	越田年彦	1 街歩き事始め一街をどのように歩き、何を学ぶのか	菊地俊夫
2 写真家の見た風景、人物、歴史	朝日新聞社	2 「命」を見つめる防災学習の実践と課題	片田敏孝	2 田中正造:谷中村の水没に抵抗する闘いを通して田中が得た「水の思想」とは	山崎憲治	2 街歩きは身体健康によいか 一街歩きの運動生理学一	山内潤一郎
3 地名の面白さ(地名入門)	今尾恵介	3 東日本の被災地の「命」に向き合う:後方支援の大切さ	本田敏秋	3 福沢諭吉:福沢の生涯をたどりながら、日本近代に果たした福沢の役割を追究	米山光儀	3 街歩きは心と頭の健康によいか 一脳科学の観点から一	北一郎
4 地名と地図	今尾恵介	4 東日本の被災地から「生きる知恵」を考える	山崎憲治	4 福沢諭吉:福沢の生涯をたどりながら、日本近代に果たした福沢の役割を追究	米山光儀	4 街歩きするための正しい歩き方 一視線の重要性一	樋口貴広
5 地形と地名	芳賀ひろく	5 文化財から学ぶ「生きる知恵」	桂雄三	5 実習:福沢諭吉の縁の地を訪ねる(墓地、慶応大図書館、三田演説館)	米山光儀	5 実習:健康と街歩き一東京の坂道を歩く、小石川・茗荷谷界限	菊地俊夫
6 坂と地名	芳賀ひろく	6 経済の浮き沈みの中を生き抜く	中川博司	6 J.ミル:幼少期の英才教育、ハリエツト女史との交際などミルの多彩な人生と思想を探る①	篠田健一郎	6 学びの場としての街歩き 一教育・教材としての街歩き一	佐藤洋
7 目黒の地名の変化	山崎憲治	7 生きる知恵を支ええる「ゆいむん」の循環思想	堀信行	7 J.ミル:幼少期の英才教育、ハリエツト女史との交際などミルの多彩な人生と思想を探る②	篠田健一郎	7 街歩きからはじまる地図の楽しみと学び 一街歩きのツールとしての地図の基礎一	佐藤洋
8 地名を探る:現地実習	生井貞行	8 ネパールの村で生と死を見つめて	垣見一雅	8 ウエーバー:激動するドイツの政治、社会、経済のなかでウエーバーが築いた	宇佐美義尚	8 街歩きからはじまる地理の楽しみと学び 一日本と世界の諸地域を比較する街歩き一	佐藤洋
9 昭和史1	安田常雄	9 軍医として原爆直後の「命」に立ち向かう	肥田舜太郎	9 ウエーバー:激動するドイツの政治、社会、経済のなかでウエーバーが築いた思想とは②	宇佐美義尚	9 街歩きが基礎となる生徒と大人のフィールドワーク	佐藤洋
10 昭和史2	安田常雄	10 動物の命から自然を見つめる	小菅正夫	10 内村鑑三:「二つのJ」に込められた思いとは何か、無教会派内村鑑三の思想と行動に迫る①	谷口稔	10 自然から癒される街歩き 一街歩きの自然リズム	菊地俊夫
11 過去の写真集から現在の姿を追う	山崎憲治	11 自然に向き合う中で学ぶもの	矢野智宏	11 内村鑑三:「二つのJ」に込められた思いとは何か、無教会派内村鑑三の思想と行動に迫る②	谷口稔	11 実習:身近な地域の街歩きの楽しみと学び	佐藤洋
12 街の魅力 住んでみたくなる街とは 京都から見た目黒	瀬戸寿一	12 農の世界に「自然の命」を見つめる	姫野節夫・圭子	12 マルクス:社会主義の実現を説くマルクスの思想とその生涯を跡付ける①	長谷川義和	12 水みちを考える街歩き一街歩きの水文学一	松山洋
13 若者が好む街	瀬戸寿一	13 喜怒哀楽の人間模様「生きる知恵」を見る	河内和泉	13 マルクス:社会主義の実現を説くマルクスの思想とその生涯を跡付ける②	長谷川義和	13 花と戻りの街歩き一街歩きの植物学一	沼田真也
14 中高年齢層が行きたくなる街	山崎憲治	14 死のふちから「命」を見つめる:フランク「夜と霧」の翻訳から	未定	14 ダーウィン:人間観、自然観を一変させた「種の起源」の誕生を追う①	堀信行	14 実習:江戸のサウンドスケープを訪ねる街歩き	菊地俊夫
15 目黒の道の歴史	生井貞行	15 スーダンのヌバに学ぶ持続可能な社会秩序の知恵:政治と宗教の分離の大切	堀信行	15 ダーウィン:人間観、自然観を一変させた「種の起源」の誕生を追う②	堀信行	15 サウンドスケープの街歩き 一街歩きの音環境学一	有馬貴之
16 高速道路の歴史と文化一アメリカのフリーウェイと日本の高速道路の比較	加藤一誠	16 再生する久高島の島民(シマンチュウ)を見つめる:映像の力	大重潤一郎	16 カント:平凡で変化のない人生と壮大な哲学との関係を探る①	江黒忠彦	16 歴史・文化から学ぶ街歩き 一街歩きの文化リズム学一	川原普
17 首都高速道路はどうなっているのか: 撮影した写真を持ち寄り写真家から指導を受ける	首都高、山崎憲治	17 社会の死角から「命」の大切さを問い直す	水島宏明	17 カント:平凡で変化のない人生と壮大な哲学との関係を探る②	江黒忠彦	17 まちづくりと街歩き一街歩きの建築学一	岡村祐
18 目黒を見る、聴く、撮る・・・冊子をつくる	朝日新聞社	18 おびえる子どもたちから「命」と「愛」を問う	一場順子	18 荘子:私が蝶か、蝶が私か	南雲智	18 宗教と街歩き一街歩きの宗教学一	松井圭介
19 発表と総括	山崎憲治	19 「希望学」の提唱する思い	玄田有史	19 魯迅:子どもを救え	南雲智	19 実習:歴史をあるく街歩き 一日本橋・人形町界限一	菊地俊夫
20 発表と総括	山崎憲治	20 語ろう:私の中の生きる知恵	堀信行	20 キルケゴール:レギーネとの婚約を破棄してまで求めた実存とは	越田年彦	20 ところ変われば街歩きを変わる 一街歩きの考現学一	菊地俊夫